



株式会社MILIZE DX推進ビジョン

2023年6月1日 制定

2025年10月1日 改訂

代表取締役 田中 徹

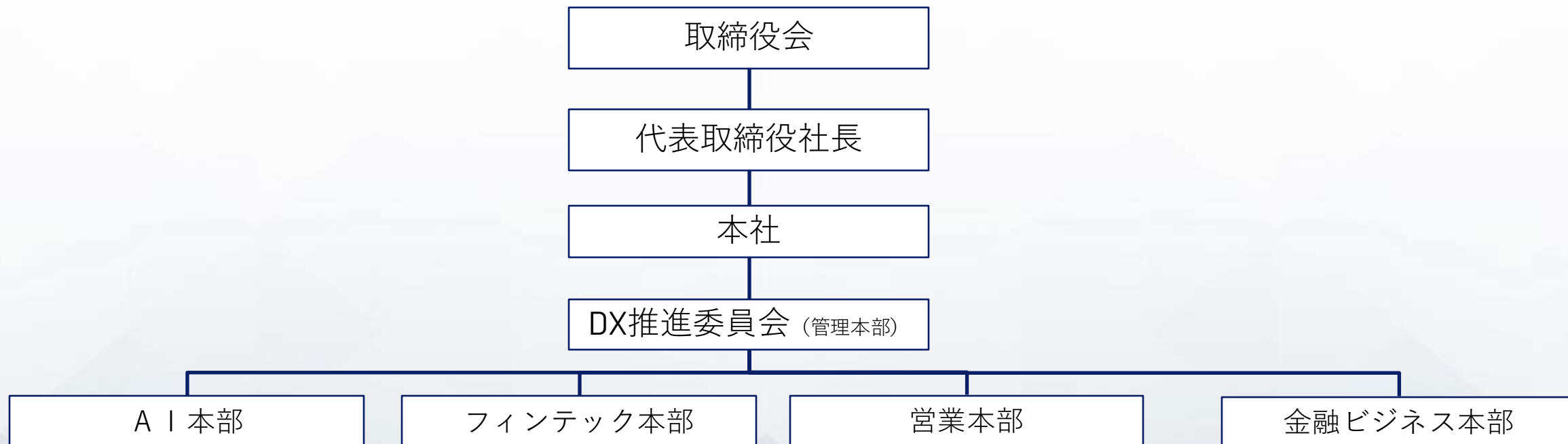
1. 社内DX推進による生産性向上

1. Kintoneの導入により見込み数字および売上管理の正確性向上及び管理工数の削減
2. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化
3. 生成AI、AIエージェントを活用し、生産性向上及びお客様向け新サービスの創出
4. 社内システムを業務内容に適したサービスに更新

2. DX人材育成

1. DXテクノロジー専門人材育成（e-learning）
2. AWSの資格取得の推進（e-learning）

2023年3月より、管理本部にDX推進委員会を新設、
ITツールの導入し、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



1. 生成AI・AIエージェント連携のシステム開発
2. 課題発見のためのデータ分析
3. ローコード開発での工数削減
4. オンライン教育コンテンツの活用
5. CRMサービス機能活用

DXビジョンに基づく推進項目

1. 社内DXの推進による生産性向上

2. DX人材育成

推進計画

1. Kintoneの導入により見込み数字および売上管理の正確性向上及び管理工数の削減
2. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化
3. 生成AI、AIエージェントを活用し、生産性向上及びお客様向け新サービスの創出
4. 社内システムを業務内容に適したサービスに更新

1. DXテクノロジー専門人材育成(e-learning)
2. クラウドサービスの資格取得の推進(e-learning)

業務削減時間 **1500時間** 資格取得者 **5名**

DX 戦略

社内DX推進による 生産性向上

Kintoneの自社用にカスタマイズ可能な機能を活用し、見込み数字および売上管理の正確性向上させ、管理工数を削減させます。
ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化します。
生成AI、AIエージェントを活用し、生産性向上及びお客様向け新サービスを創出します。

DX人材の育成

自社のDX推進を図るため計画的な社内人財の育成によるITリテラシー向上と、お客様の業務のDX化促進のためにクラウド認定資格の取得を目指します。

1. 社内DX推進による生産性向上

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. Kintoneの導入により売上管理の正確性向上及び管理工数の削減 | Kintoneの自社用にカスタマイズ可能な機能を活用し、見込み数字および売上管理の正確性向上させ、管理工数を削減させます。 |
| 2. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化 | MAツールの導入をして効率的な営業活動を実施します。 |
| 3. 生成AI、AIエージェントを活用した新サービスの創出 | 1) チャットボット機能に生成AI・AIエージェントを連携させて回答精度を向上させます。
2) 生成AI・AIエージェントの利用によって、エンジニアのコーディング生産性の向上させます。 |
| 4. 社内システムを業務内容に適したサービスに更新 | 常にDX推進を念頭におき、社内システムについては定期的に見直し更新します。 |

2. DX人材育成

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. DXテクノロジー専門人材育成 (e-learning) | |
| 2. AWSの資格取得の推進 (e-learning) | クラウド認定の資格取得し、自社サービスレベルを上げ顧客のDX環境を向上させる。 |

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます

1. Kintoneの導入により見込み数字および売上管理の正確性向上及び管理工数の削減
2. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化
3. AIを活用し、生産性向上及びお客様向け新サービスの創出
4. 社内システムを業務内容に適したサービスに更新
5. e-learningシステムを利用したDX人材の育成

現在、当社ではＩＴツール導入により管理部門の時間効率化や営業部門の生産性向上を目標に環境整備に取り組んでいます。

Kintoneの機能追加により、見込み数字の算出が正確になり営業活動の生産性向上に繋げることが出来たと認識しています。

管理工数が削減されたことで他の業務に時間を使うことができるため必要な施策として今後も活用します。

ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化な営業活動を実現しました。

社内業務システムおよびサプライチェーンのデジタル化など、ICT技術を活用することで「効率と生産性を高め、新たな価値を作り出す」取り組みを推進しています。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DX推進の取組み」として、随時、公開して参ります。

